

会 議 録

1 会議名

令和2年度第4回板倉区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

- ・会長あいさつ
- ・所長あいさつ
- ・協議
 - （1）地域協議会委員の研修について（公開）
 - （2）地域との意見交換会について（公開）
- ・その他

3 開催日時

令和2年9月8日（火）午後6時00分から午後8時00分まで

4 開催場所

板倉コミュニティプラザ 201・202会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委 員：平井達夫（会長）、古川政繁（副会長）、池田光男、小林政弘、植木節子、手塚哲夫、山本茂、西田節夫、下鳥治、田中睦夫、庄山健、秋山秀夫、長藤豊
- ・事務局：板倉区総合事務所 米持所長、宮腰次長（総務・地域振興グループ長兼務）、笠松次長、関根産業グループ長、大堀建設グループ長、丸山市民生活・福祉グループ長兼教育・文化グループ長、村山地域振興班長、瀬戸主事（以下グループ長はG長と表記）

8 発言の内容（要旨）

【宮腰次長】

- ・会議の開会を宣言

【平井達夫会長】

- ・あいさつ

【米持総合事務所長】

- ・あいさつ

【平井達夫会長】

- ・条例第8条2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認。会議の成立を報告。
(1) 地域協議会委員の研修について、事務局に説明を求める。

【村山地域振興班長】

- ・資料により説明
視察計画について協議いただきたい。

【平井達夫会長】

質問、意見のある委員の挙手を求める。

【西田節夫委員】

私は案1が良いと思う。いろいろな場所を見て勉強していただけたと思う。

【長藤豊委員】

私も案1が良いと思うが、17名での移動ということで、移動に対して新型コロナウイルス感染症対策はどのように予定しているのかお聞きしたい。

【村山地域振興班長】

案1だと、細い道もあるためワゴン車2、3台での分乗にし、案2は、そこまで細い道がないためマイクロバス1台での移動を考えている。行く場所によって、巡回の方法は変えたいと考えている。

【庄山健委員】

私も案1がいいと思うが、高野のスマート農場と針小学校は校舎を工事中であり、行かなくて良いと思う。

【村山地域振興班長】

改修している現場を見る意味で行くことも良いと思う。また、小学校の支援事業

は3月がメインなので、視察研修先から外しても良いと思う。

【小林政弘委員】

私も内容的には支援事業含めた案1で良いと思うが、10月末という時期を考えると、天候が不安定で日暮れが早くなる。その辺の配慮が必要なので、内容を選別した方が良いと思う。

【村山地域振興班長】

テーマの対象と考えられるすべての施設を回る行程で考えた計画案なので、不要なところは減らしていただいて構わない。

【西田節夫委員】

地域活動支援事業については、誰が説明するのか。

【村山地域振興班長】

事務局で対応する。

【西田節夫委員】

説明はあまり必要ないと思う。地域活動支援事業に関する資料はすでに配布されているので、わからないところなどがあれば後日個別に確認すれば良いと思う。

計画には載っていないが、支援事業補助金を過去に活用した団体の中で金額が大きい団体がある。その事業実施個所を委員のみなさんからみていただきたいと思う。過密スケジュールにならないようルートの再考はできないか。

【村山地域振興班長】

集合時間を9時に繰り上げし、施設の増減することも可能である。概要を説明する時間しかとっていない施設もある。皆さんの意見を聞きながら考えたい。

【庄山健委員】

北部スポーツセンター、工業団地、高野スマート農業などは、下車せず車の中から説明してもらってもいいのではないか。旧寺野小学校は行っても老人ホームなので通るだけでもいいのではないかと思う。

【村山地域振興班長】

分乗になってくると説明する人によっては、詳しさなど内容に用意がでる場合があると思う。その点についても考慮しなければならない。

【田中睦夫委員】

分散で行った場合の懸念事項も考えると、1台に全員が乗車し、入れない所は省略するのが良いと思う。朝はもう少し早くてもいいので、4時に帰るような日程で組み直した方が良いと思う。

【村山地域振興班長】

地域活動支援事業の部分を回ったほうが良いという意見が多いので、案1を中心として、上筒方、柄山などバスで行けるか心配な所は除いて、もう一回組み直す事を考える。

【植木節子委員】

地域活動支援事業の進捗状況をみたいというのが、個人的には第一希望である。山手の方で補助金がどのように使われているのか一番興味があるところであり、今後どのように地域活動支援事業をやっていけばいいのか参考になると思う。説明は前もって資料を作ってくださいと思うので、それを読みながら、もしくは分からないところは詳しい方を紹介してもらえば、聞くこともできる。今のプランでは、欠席でもいいのかなと思っている。

【村山地域振興班長】

案1をベースにするのか、案2をベースにするのかだけ決めていただければまた事務局で再考したい。

【平井達夫会長】

車をバス1台とするか、ワゴン車で分乗するかについてまず絞り込みたい。採決を採る。

(バス1台とする意見多数)

時間について、採決を採る。午前9時から午後4時までの予定としてよいか。

(賛成多数)

バス1台で、午前9時から午後4時までの計画を改めて事務局が作成することとする。

【長藤豊委員】

バス1台とすると行ける場所と、行けない場所がある。時間をずらすことによって、昼食の時間帯との調整も必要になり、下車して歩く時間なども改めて検討する

必要があると思う。

【村山地域振興班長】

日程については、10月下旬ということではどうか。現在、10月29日で考えている。火曜日はやすらぎ荘とふしんの里記念館が休館日なので外していただきたい。

【平井達夫会長】

10月29日の週で都合が悪い委員はいるか。

(29日が不都合との声あり)

では、10月28日水曜日としてどうか。

(異議なし)

日程は10月28日水曜日とし、再度事務局から行程を検討してもらうこととする。

つづいて、(2) 地域との意見交換会について、事務局に説明を求める。

【村山地域振興班長】

過去の地域協議会において、地域協議会委員が地域に出向き、地域の方と意見交換を行うことにより地域の現状と課題を把握し、今後の自主的審議につなげることを目的に意見交換会を開催した。平成24年度には、区内の6地区に出向き、テーマを設けずに意見交換会を行い、参加者からの意見をいくつかの大きなテーマに分け、各専門部会で協議した。

前回の方法以外にもテーマを絞って行う事も考えられる。その場合は、まちづくり振興会、商工会、農業団体、福祉団体、スポーツ団体などテーマに沿った団体との意見交換や、属性別であれば、高齢者、若者、女性、保護者、移住者などと意見交換をすることも考えられる。また、今年度開催する場合、新型コロナウイルス感染拡大防止策として、時期や会場の配慮も必要である。

意見交換会のテーマや実施方法などについてご協議いただきたい。

【平井達夫会長】

質問、意見のある委員の挙手を求める。

【田中睦夫委員】

過去に地域協議会として、意見交換会は、板倉では何回行われているのか。それ

から、前期では開催されていないが、必要に応じて行っていたということか。

【村山地域振興班長】

フリートークでの意見交換会は、平成24年度以降行っていない。小学校の在り方についての意見交換会は地域に出向いて行った。平成24年度に行った意見交換会は、地域が抱えている課題はどんなものか地域協議会として把握したいという意向があり行われた。過去の意見交換会で集めたテーマについては、前期の地域協議会である程度方向性をだして課題解決、協議終了している。今期以降の地域協議会としてどのような取り組みをしていくか方向性を検討するうえで必要と考え、意見交換会の開催について提案した。

【庄山健委員】

地域協議会の任務、役目は地域の声をきいて、活動していくことが重要視されると考える。地域の声をきかずには動けない。小学校の統合しかり、買い物弱者への支援についても意見があって協議してきたことなので、地域の声を聞かなければ、地域協議会は何をやっているのかよくわからないという声につながる。

【西田節夫委員】

地域が今何を悩んでいるのか。地域協議会で議論してほしいのか。その意見交換会を経て、3つの部会を創設したという経緯がある。

【長藤豊委員】

先程田中委員から、前期の4年間は実施していないという話があったが、実際には小学校の統合が最重要ということで、これに関するものに絞って協議してきた。先回の地域振興部会で意見交換会を開催すべきとの意見があった。1回の意見交換会で終わらせる必要はないと思う。地域からの声と団体からの声を4年の間に両方やるのが良いのではないか思う。

実際は今年度中にやりたいが、現状を考えると、新型コロナウイルス感染症が落ち着かなければ大勢で集まることが難しい。意見交換会の開催は来年度以降とし、今年度はどういった形で、どういった情報を集めるか、事前に検討する期間とするのはどうか。

【田中睦夫委員】

今の会議もそうだが、不可能ではないと思う。私も地域の課題を吸い上げるとい

うのが大前提だと思っている。事務局から提案があった、各種団体との意見交換も必要な事だと思うので、一年おきにそういった機会を計画的に行っていくことも必要だと考える。例えば、令和2年度は地域との意見交換会を行い、次年度については、各種団体との意見交換会を行うのはどうか。

【庄山健委員】

私もできればやった方がいいと考える。

【池田光男委員】

各会に地域協議会委員全員が参集するのか。

【平井達夫会長】

過去に開催した時は、全委員が出席し地元の委員が司会や取りまとめを行っていた。

【池田光男委員】

承知した。地元の委員と事務局から何人か参加するのがよいと思う。地元委員に取りまとめなどをお願いした方が、地元の雰囲気もわかると思う。

【平井達夫会長】

意見が出尽くしたので、今年度意見交換会を実施するかどうか決を採る。

(来年度実施とする意見多数)

来年度以降実施することとし、今年度は開催に向けて検討を重ねることとする。

5その他に移る。事務局から何かあるか。

【宮腰次長】

地域協議会委員の名刺を8月中旬に希望者へ配布した。追加配布や新規配布の希望があれば、事務局まで連絡をいただきたい。名刺は、地域協議会委員が地域情報、市政情報等の収集に当たって身分や連絡先を明らかにする必要がある場合に活用できるように作成し配布している。名刺の使用に際して、過去には不適切な使用の事例もあったことから、目的に沿った活用をお願いする。

次回の地域協議会において、第3セクターの経営状況についての報告を予定している。また、地域協議会終了後、勉強会に切り替えて、前回の地域協議会で説明した公の施設の再配置計画に関連し、やすらぎ荘の現状について説明し、委員の皆さんの意見を伺いたいと考えている。

【平井達夫会長】

委員からなにかあるか。

【田中睦夫委員】

地域協議会委員の連絡先が記載された名簿を作成し、配布していただきたい。

【村山地域振興班長】

名簿については、委員の皆さんの同意が得られれば、お配りしたいと思うがいか
がか。

(異議なし)

配布させていただくこととする。

【庄山健委員】

8月26日に第1回地域活動支援事業審査基準検討部会を開催したので報告す
る。座長は、庄山が務めることとなった。委員の皆さんにアンケートをお配りした。
今年度の地域活動支援事業の採択方針等に関してご意見等記載いただき9月25
日までに事務局まで提出していただきたい。報告は以上である。

次回、勉強会を開催してやすらぎ荘の話をするとのことだが、どういうことか。

【宮腰次長】

先回の会議の中で、行政改革推進課が様々な再配置計画の説明をした。その中で、
やすらぎ荘についてまだ方針が決まっていないが、いずれにしても、やすらぎ荘の
今の経営状況や、来客数などについて委員の皆様へ情報を伝え、一緒に考える勉強
会にしたいと考えている。

【庄山健委員】

名立のろばた館について、名立区地域協議会で諮問されている。やすらぎ荘も建
物を残して違う使い方をするのか、取り壊すのかどうかを検討するということか。

【宮腰次長】

まだやすらぎ荘の方向性は決定していない。その中で、やすらぎ荘の現状につい
て話をして、委員の皆様方から今後、板倉区におけるやすらぎ荘の在り方について、
検討、ご理解いただければと思っている。いきなり再配置を決定し、すぐ諮問を依
頼することはない。

【西田節夫委員】

令和元年度の地域活動支援事業活動報告会が2月24日にあった。その時3団体から報告を受けた。実際に支援事業の採択を受けたのは、14団体あったが。報告会に参加していない11団体について、今後報告予定はあるのか。

【村山地域振興班長】

団体の活動報告については、前期の地域協議会では、3団体から活動報告会で発表していただいた。残りの団体からの報告は予定していない。

【平井達夫会長】

8月25日に板倉小学校設置推進協議会が開催され、出席したので報告する。

8月25日に、板倉コミュニティプラザで開催され、オブザーバーとして出席した。各検討委員会の委員長より説明があった。校歌・校章検討委員会については、校歌や校章のデザイン、作曲家による各学校への訪問等の説明があり、校歌と校章の案が示された。通学検討委員会については、運行案の状況説明がありスクールバス路線の案が示された。PTA組織検討委員会については、全体会議のあと検討委員会が実施されている。後援会組織検討委員会については、後援会組織の検討会議の状況説明があった。各検討部会の報告後、小学校閉校記念式典について説明があった。宮嶋小学校は10月25日に閉校式典と記念碑除幕式、山部小学校は11月14日に閉校式典と記念碑除幕式が行われ、針小学校は10月24日に記念碑除幕式、3月19日に閉校式典が行われる。市教育委員会より、学校の整備等については、予定どおりに進捗しているとの説明があった。今回は10月の予定である。

推進協議会委員の小林委員のほうで補足あればご発言いただきたい。

【小林政弘委員】

概要については、平井会長から説明があったとおりである。地域のみなさんのご協力により、来年4月1日の板倉小学校開校にむけて、それぞれの検討委員会を中心に、検討を重ねてきた。内容によっては、公表できる状況ではないため、段階的にマスコミ等を含めて公表していく。全て順調に合意形成がされてきている。地域の声を充分意識しながら検討しているので、今後PTA及び、後援会の組織について、早期に完成形にもっていききたいところである。今後とも協力をお願いしたい。

【平井達夫会長】

県立有恒高等学校について報告する。8月26日、有恒高校同窓会の小林氏から、有恒高校の在り方について県の教育委員会に対して要望するにあたり、地域協議会からも協力してもらいたい旨の相談があった。具体的には、県への要望書に町内会長連絡協議会、まちづくり振興会、商工会、同窓会、PTAと共に地域協議会も要望者として名を連ねてほしいとのことであった。

経過の説明をさせていただく。平成29年1月12日に、県立有恒高等学校の在り方を考える有志の会として、橋本市議会議員から県立有恒高校の在り方について板倉区地域協議会の自主的審議事項で取り上げていただきたいという要望書を受けとった。

平成29年6月28日、第4回地域協議会においてこのことを説明し、対応を協議した。その中で、有恒高等学校は県の所管であること、有恒高校の後援会、同窓会等が先行して進めるべき課題であり現時点では地域協議会としての対応は難しいということ、先に検討することは良いのではないか、といった意見が出た。平成29年6月28日時点で後援会、同窓会などの有恒高等学校の在り方を考える団体が確立されていなかったため、確立されてから地域協議会としては議論すべきという協議結果となった。

平成30年7月26日、有恒高等学校の関係者が集まり、有恒高校の在り方を考える会で組織づくりを実施し、9月15日に有恒高校の在り方を考える会を設立したと連絡があった。

平成31年1月31日、当時の同窓会会長小林正之氏、橋本市会議員、丸山章市会議員の3名から再度要望があった。平成31年2月26日、会長、副会長、事務局でこのことについて再度協議し、平成31年3月25日、第1回勉強会を実施した。地域協議会委員から意見を出してもらい、要望者との意見交換を実施することとした。

令和元年5月7日、第2回勉強会を実施した。出席者は地域協議委員12名、小林同窓会会長、橋本市会議員、同窓会の藤巻校長先生の15名であった。最終的に、地域協議会としては、地域協議会が先行して協議を進めるのではなく、有恒高校の在り方を考える会による議論が進んだ段階で、地域協議会も地域関係者と検討する

こととした。

その後問い合わせをしても返事がない状況で、今年8月26日に再び地域協議会へ要望書案を小林同窓会長が持参した。

以上が、これまでの経緯である。地域協議会の対応について、まず、事務局の見解について説明を求める。

【宮腰次長】

地域協議会の権限は、上越市地域自治区の設置に関する条例第7条に定められており、市が行う事務に関して審議を行い、また意見を述べるができるとなっている。また、市が地域協議会に意見を聞かなければならない事項は、同じく上越市地域自治区の設置に関する条例第7条に定められており、地域自治区内の市の管理する施設の統廃合や管理の在り方としている。有恒高等学校は県立の施設であり、県に対して直接意見を述べる権限までは付与されていない。そのため、有恒高等学校の統廃合や運営に関する要望書に地域協議会が名を連ねることは、できないものとする。

【平井達夫会長】

質問、意見がある委員の挙手を求める。

【下鳥治委員】

条例第7条に抵触するという事は理解した。しかしながら、地域協議会とはどういうものであるかと考えた時に、有恒高校、あるいは学校関係の統合について板倉区全体の事を考えた時には、事務局としてはどんな考えであるか教えていただきたい。

【宮腰次長】

権限については、説明のとおりであるが、地域協議会としてまったく議論をしていけないという意味ではない。地域協議会の自主的審議として、今の有恒高等学校が、地域のまちづくりで果たしている役割といった視点で協議をしたり、地域の方々と検討したりといったものには制約するものがないと考える。ただ、統廃合や運営に関する直接の要望をする事はできないというふうに解している。

【下鳥治委員】

増村朴齋先生が設立したという由緒ある伝統があるので、地域からすれば当然残

してほしい。外的要因が様々あるが、関係者がいろいろと支えてきたと思う。勉強会を経て、どのように地域として盛り上げてきたのか、今までの経緯がわかったら教えていただきたい。

【平井達夫会長】

地区の課題でもあるが、所管の関係で、そのハードルを越えられないというのがある。また、普通科の定員を満たしておらず、通学方法が原因なのか、有恒高校にはどんな問題があるのかわからない。少子化の中でどうしたらいいか、魅力発信はどうしたらよいかなど案が中々でてこない状況である。

【庄山健委員】

地域協議会として、今後関わっていくのか。有恒高校がなくなるとは困るのではないか。その一点について考える必要がある。有恒高校の在り方を考える会は、もう少し会自体が真剣に残すことをやらなくてはいけないと思うが、15カ月間も開催していないということでは困る。見守るつもりなのか。

【平井達夫会長】

有恒高校をなくしてもらっては困るということが出発点であり、いろいろな方策を考えている。

【長藤豊委員】

先程説明された小学校の設置の関係で、通学検討委員会から7月21日に関係町内会の説明で資料が回覧された。しかし、回覧された資料と、配布された資料の運行図が違う。ここに書かれていない一番重要なことは、今後の関田線、山寺薬師・孤立に関しては、頸城バスの運行はしない、すべて市バスの運行になるとが一番重要なことである。そうすると今の経路は、スクールバスという事が前提の経路なので、市バスでやるとなると、高齢者の事やいろんなことを考える必要がある。個人的に総合事務所に質問を投げたりしているが、そういった意見を取り入れる機会を作ってもらうことはできないか。

【小林政弘委員】

高齢者の対策も十分吟味したなかでの経路を検討している。もう一度、通学検討委員会で各町内会、実際この経路で走ってみて、本当に安全性が確保されるのか確認する予定なので、まだ決定したわけではない。ご意見を賜って、いずれにしても

デマンドバス形式で高齢者を救済していく事を中心に考えていく。子ども達は、朝と帰る時間が決まっているので、その間にどのような形がいいのか、十分検討の余地があるので参考にさせていただく。

【庄山健委員】

これは中学生が乗ったり、高校生が乗ったり、一般の人が乗ったりすることはできるのか。

【長藤豊委員】

回覧には全て書いてあり、空いている席を利用できるとのこと。空いている席がどのくらいあるか確認したところ、例えば関田線であれば、児童、生徒全員が乗っても9席空きがあるということで回答をいただいている。なるべく意見は出していきたい。

【平井達夫会長】

有恒高等学校の課題については、地域の動向を注視し、それにより地域協議会として協力できるところは協力するということがよいか。

(異議なし)

【西田節夫委員】

新任委員は今までの経過を知らないなので、経過についてまとめたものを配布し、議論するときに役立てていただきたい。

【平井達夫会長】

資料については事務局と検討する。

私からもう一点、頸南森林組合についてお話させていただきたい。令和3年度に役員改選がある。役員改選のための役員推薦委員を選出してほしいと、8月31日に組合から話があった。現在、役員の総数が16名、板倉区では3名選出されており、令和3年も3名推薦となる。推薦にあたっては、役員推薦委員3名によって、役員推薦会議のうえで決定する。役員ではなく、役員を承認する委員である。これまで、推薦委員のうち一人は地域協議会委員から選出しており、わたしがなっていた。森林組合の役員は、森林組合の組合員でなければならず、地域協議会委員で森林組合員なのは熊川の小林委員、筒方の長藤委員と私の3人である。私が推薦委員になるということで、頸南森林組合の方へ連絡させていただいてよいか。

(異議なし)

【平井達夫会長】

- ・ 次回の地域協議会は10月8日(木)に開催
- ・ 会議録の確認は手塚委員に依頼

【古川政繁副会長】

- ・ あいさつ

【宮腰次長】

以上で、第4回板倉区地域協議会を終了する。

9 問合せ先

板倉区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL : 0255-72-2141 (内線123)

MAIL : itakura-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。